

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (教育学)	氏名 Author	澁谷 和朗
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Community Participation in School Management Toward Educational Outcomes in Ghana: From the Perspective of Relational Trust			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	准教授 中矢 礼美	印 Seal	
審査委員 Committee	教授 馬 場 卓 也		
審査委員 Committee	教授 清 水 欽 也		
審査委員 Committee	准教授 滝 沢 潤 (大学院人間社会科学研究科)		
審査委員 Committee	教授 Kwame Akyeampong (University of Sussex)		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本博士論文は、学校運営への住民参加がどのように教育的成果の発現に結びつくかを関係的信頼の観点に基づき明らかにすることを目的とする。第1章では、本研究の背景、研究目的、研究の文脈を説明した。第2章では、先行研究における学校運営の要因、関係者、関係性を巡る議論とそれを支えるコミュニティ、参加、社会関係資本などの概念を概観した。そして先行研究が解明していない点を明らかにした上で、本研究の分析概念となる関係的信頼について説明を行った。第3章では、本研究が行われた西アフリカのガーナの文脈に基づき、在来の地域コミュニティ及び制度化された学校コミュニティによる学校運営への参加、学校運営に日々従事する校長と教師の置かれた現状を概観した。第4章では、社会経済指標、教育的成果、学校運営の運営的及び教育的要因、関係的信頼の視点を踏まえた本研究の分析枠組み及び研究設問、研究方法を提示した。第5章では、分析枠組み及び研究設問に基づき、量的分析からは、主要な変数間の相関関係を明らかにするとともに、質的分析ではなぜそのような結果が起こりうるかについて事例研究をもとに分析した。第6章では分析結果に基づき、本研究の理論上及び実践への貢献を説明した。本論文は、地域的及び教育的な格差が拡大する現代社会において、格差拡大を抑止するために学校コミュニティとしての共同体と個々の家族とがどのような関係性を取り結ぶべきかを考察する上で意義を有するとして審査委員一同から高い評価を得た。なお、本論文の一部は既に査読付き論文 (Shibuya, K. (forthcoming) Community Participation in School Management from the Viewpoint of Relational Trust: The Case Study from the Akatsi South District, Ghana. International Journal of Educational Development. Shibuya, K. (2019) Headteachers' Role in Participatory School Management from the Viewpoint of Relational Trust: A Case Study from Ghana. Comparative Education 59, pp46-68. (他2編)) として刊行済みである。</p> <p>以上の審査により、本論文の著者は博士(教育学)の学位を授与される十分な資格があると認められ、審査委員一同の合意の下に、合格と判定した。</p>			